

世界科学館サミット(SCWS)2017 について

2017年10月23日
第2回AMR対策推進国民啓発会議

「世界科学館サミット(SCWS)2017」概要



2017年に開催される第2回目の世界科学館サミット (Science Centre World Summit) は、アジア・太平洋地域を代表して、日本での開催となる。

(第1回目の開催は2014年にヨーロッパ地域を代表し、ベルギーで開催)

世界科学館サミットとは、世界中の科学館およびそのパートナーが、国や業界の枠を超えて、未来社会にどのようなかたちで貢献できるかを具体的に話し合い、且つ戦略的に連携して活動に取り組むための場として**3年に一度開催される国際会議であり、世界約50ヶ国より500名程度の参加が予定されている。**

- 会 期：2017年11月15～17日（3日間） ※14日には科学館のリーダーのみを招いたCEOフォーラム開催予定
- 会 場：日本科学未来館
- 参加者：世界の科学館、大学/研究機関、政府/行政、企業、国際組織、NGO/NPO、ファンディング機関、在京大使館ほか 科学コミュニケーション機関の関係者、科学ジャーナリストなど
- コンテンツ：
開会式/閉会式、基調講演、プレナリーセッション、パラレルセッション、ポスターセッション、祝賀会、夕食会、展示会（マーケットプレイス）、特別展示（ライス展）
- 後援等依頼先機関
共催：文部科学省
後援：内閣府、外務省、環境省、日本学術会議、独立行政法人日本学術振興会、独立行政法人国際交流基金、一般社団法人日本経済団体連合会、American Association for the Advancement of Science (AAAS)、EuroScience

テーマ・トピック

“世界をつなぐ- 持続可能な未来に向かって”

Connecting the World for a Sustainable Future

■ グローバル・サステナビリティ（11月15日）

“持続可能な社会に向けた取り組み（サステナビリティ）”のために科学館が果たすべき新たな役割について話し合う。地域レベルから地球規模の課題まで幅広く扱い、さまざまなステークホルダーと科学館の協働による新たな戦略について議論する。

■ とともに創り、ともに変わる（11月16日）

幅広く各界からの参加を募り、組織レベルの議論を行います。地球規模課題に対処し、持続可能な未来を実現するために、どの業界も既存の考え方やモデルから脱皮し、新しい姿への変革が求められる。科学館が他の業界組織とどのように連携し、互いがどのように変わっていくべきかを考える。

■ 一人ひとりが科学に関わるために（11月17日）

組織レベルでの変革と同様に、サステナビリティのために私たち個人も新しい習慣を身につけ、変わっていく必要がある。科学館はその活動を通して、市民一人ひとりの生活と科学を具体的にどう結びつけ、個人の変化を促すために何ができるのか。3日目は、個人と科学の新しい関係性を見いだすための、科学館の役割について議論する。

プログラム

国際性・学際性を重視したパラレルセッション、ポスターセッションを予定。

11月14日	11月15日	11月16日	11月17日
	グローバル・サステナビリティ	ともに創り、ともに変わる	一人ひとりが科学に関わるために
参加登録	参加登録	参加登録	参加登録
CEOフォーラム	開会式 (35分)	基調講演 (35分)	基調講演 (35分)
	基調講演 (40分)	基調セッション (35分)	基調セッション (35分)
	基調セッション (40分)	ポスターセッション・コーヒーブレイク	コーヒーブレイク
CEOフォーラム	マーケットプレイスオープン・コーヒーブレイク	パラレルセッション (75分)	プレナリーセッション (75分)
昼食	パラレルセッション (75分)	1 2 3 4 5 6 7	
	昼食 (75分)	昼食 (75分)	昼食 (75分)
CEOフォーラム	パラレルセッション (75分)	特別セッション (60分)	パラレルセッション (75分)
New comer イベント	1 2 3 4 5 6 7	パラレルセッション (75分)	1 2 3 4 5 6 7
	プレナリーセッション (75分)	1 2 3 4 5 6 7	ポスターセッション・コーヒーブレイク
	プレナリーセッション (75分)	コーヒーブレイク	総括セッション (60分)
ウェルカムレセプション	ポスターセッション・コーヒーブレイク	プレナリーセッション (75分)	閉会式 (~60分)
	写真撮影	交流会	フェアウェルレセプション
	特別セッション (60分)		
	祝賀会 19:45 ~	夕食会 19:45 ~	

プレナリーセッション (4枠) : 複数のハイレベルの登壇者により各日のトピックについて多様な視点から議論

パラレルセッション (34枠) : 一般公募により実際の取り組みや課題を共有、議論するセッション

特別セッション (2枠) : 今後の行動方針に関するセッション および アジアの科学館ネットワーク主催するセッション

SCWS2017 AMR関連講演・発表

■ 11月15日 (水) 15:30-16:45 プレナリーセッション (パネルディスカッション)

「Systems Thinking for Sustainability」(持続可能な社会のためのシステム思考)

サリー・デビス卿 (英国政府主席医務官) よりAMRについてご講演



サリー・デビス卿
英国政府主席医務官

2014-2016年にかけてWHOの執行理事会委員、AMRに関する戦略・技術アドバイザリー委員会のチェアを務める。直近では2016年の国連総会で合意されたAMRハイレベル会合政治宣言における関係機関調整グループの共同議長に指名。

■ 11月15日 (水) 16:45-17:30 ポスターセッション

「Increasing Public Awareness and Knowledge on Antimicrobial Resistance (AMR) in Japan」(日本における薬剤耐性に関する意識啓発)

長谷川学氏 内閣官房国際感染症対策調整室 企画官よりご発表

■ 11月16日 (木) 14:40-15:55 パラレルセッション (パネルディスカッション)

「Communicating Natural Disasters, Man-made Hazards and Risks」 (自然災害、人為的ハザードおよびリスクのコミュニケーション)

大曲貴夫氏 (国立国際医療研究センター病院副院長) より感染症の動向、展開についてご講演

関連する取組み：世界科学館デー

- ユネスコが11月10日を世界科学館デー（International Science Center & Science Museum Day）に制定。
- 世界中の科学館が科学の発展に役立つ取組みを推進する。
- 2017年はテーマとして「蚊」を採り上げ、蚊の生息する水場や蚊の幼虫を写真に撮って、専用のアプリで共有することでジカ熱やデング熱などの研究に役立てる試みを世界中の科学館で実施。



SCWS2017 主な講演者1



**スマヤ・エル・ハッサン
王女**

ヨルダン・ハシエミット王国
王立科学協会 会長

ヨルダン国の要職にあり、ヨルダンとその周辺地域の平和と繁栄のための科学の利用を支援するための政策や活動を牽引。

[1日目開会式
ショートスピーチ]



安藤 忠雄氏

建築家/
東京大学名誉教授

代表作に「光の教会」「フォートワース現代美術館」「プンタ・デラ・ドガーナ」など。

[1日目基調講演]



山中 伸弥氏

京都大学
iPS細胞研究所 所長・教授

ノーベル生理学・医学賞受賞者
(2012年)

[1日目ガラディナー
ショートスピーチ]



**ゴードン・
マクベーン氏**

国際科学会議 会長

グローバル・サステナビリティに関する国際的な研究プロジェクト、フューチャー・アースの共同議長。

[2日目基調講演]

SCWS2017 主な講演者2



**ブルクタウィット・
ティガブ氏**

ウィズ・キッズ・ワークショップ
共同創設者/CEO/クリエイティブ・ディレクター

エチオピアで、未就学児を対象にした教育プログラム「ツェハイ・ラブ・ラーニング」など、地域に教育を広く普及させる活動を展開。プリックス・ジュネス国際賞、日本賞、ロレックス賞（ヤング・ローリエイツ）など受賞多数。

[2日目基調講演]



ジョン・クレブス卿

オックスフォード大学ジーザスカレッジ
名誉フェロー、前学長

英国食品基準庁の初代長官（2000-05年）として、BSE問題で揺れた英国食品行政の立て直しに尽力。2012-13年、ブリティッシュ科学協会会長。

[3日目基調講演]



パバン・シュクデフ氏

国連環境計画（UNEP）親善大使、GIST（Green Indian States Trust）創設者・理事、GISTアドバイザー 設立者・CEO、エール大学ダヴェンポートカレッジ アソシエートフェロー

包括的グリーン経済に移行するための経済的合理性を有する実用的な測定基準を開発した先駆者（2016ブループラネット賞受賞）

[3日目基調セッション]



トーマス・E・ラブジョイ氏

ジョージ・メイソン大学環境科学・政策専攻教授

人間の活動が生物多様性を損ね、地球環境の危機に至ることを学問的に初めて明らかにするとともに、世界の環境保全に大きな影響を与えた。（2012ブループラネット賞受賞）

[3日目基調セッション]